

## ■ 掲示板

### ■ 高エネルギー加速器研究機構次期機構長候補者の推薦依頼

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構では、2018年（平成30年）4月1日付けで任期が始まる次期機構長の候補者について推薦を求めています。

本機構は、国立大学法人法により設立された法人で、同法に基づく業務を行っております。また、素粒子原子核研究所、物質構造科学研究所及び加速器研究施設と共通基盤研究施設とを擁し、国内外の研究者に開かれた教育・研究機関であります。本機構における研究分野は、加速器を共通の研究手段として、高エネルギー物理学、原子核物理学、物質科学、生命科学、加速器理工学など、多岐にわたっております。

機構長候補者は、大学共同利用機関法人を代表し、その業務を総理する立場として、①人格が高潔で、学識が優れ、かつ、機構における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者であり、②高度な先端性、国際性及び学際性を持つ高エネルギー加速器研究機構を、社会の理解と支持を得ながら、長期的なビジョンと強い学問的リーダーシップを発揮し発展させることができ、③中期目標・中期計画の策定及び推進に優れた手腕を有する者であることとしております。

なお、機構長の任期は2021年（平成33年）3月31日までの3年です。再任の場合は2回までで、引き続き9年を超えて在任することはできないこととなっております。また、国籍は問いません。

については、上記を踏まえて、適任者のご推薦をお願いいたします。

**提出書類：**(1)機構長候補者推薦書、(2)候補者略歴、(3)主たる業績リスト、(4)推薦理由

※使用言語は、日本語または英語にてお願いいたします。

(各様式については、下記のページより取得してください。)

<https://www.kek.jp/ja/NewsRoom/Release/20170301090000/>  
ご不明な点がございましたら、下記問合せ先にご連絡ください。

**推薦期限：**2017年（平成29年）5月31日（水）（必着）

**推薦書提出先及び問合せ先：**

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構

総務部総務課総務係

TEL：029-864-5114

E-mail: kek.dgsc@ml.post.kek.jp

## ● 選挙オンライン化のご案内 ●

庶務監事 藤原明比古

日本放射光学会事務局

2017年度実施の会長・評議員選挙より、オンライン投票を導入します。

選挙権をもつ全正会員には、メールにて投票の案内をお送りしますので、メールアドレスのご登録がない方、変更をされる方は必ず事務局（jssrr@jssrr.jp）までお知らせください。

## ■会告

### ■第21回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2016年10月1日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として2名が推薦された。

その結果を受け、第112回評議員会にて第21回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第30回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

• 上村洋平（自然科学研究機構 分子科学研究所）

「超高速時間分解 XAFS による不均一触媒のメカニズムの研究」

上村洋平氏は、大学院時代から一貫して硬 X 線 XAFS による不均一触媒反応解析を行い、多くの成果を挙げているが、その業績は大きく2つに分けられる。第一は、波長分散型 XAFS 法 (DXAFS) を、PtSn や PdZn のような合金ナノ粒子に適用し、各構成元素の時間分解 XAFS 測定によって、詳細な速度論的解析に成功したことである。特に、高機能燃料電池触媒として期待される PtSn 超微粒子の酸化過程の解析では、Sn が Pt クラスタとコア・シェル構造を形成することを明らかにし、反応に伴い表面組成がダイナミックに変化することを直接証明したものと高く評価できる。第二の業績は、XFEL とレーザーを組み合わせたポンプ・プローブ XAFS 法で、可視光応答型光触媒 WO<sub>3</sub> の光励起過程の詳細を明らかにしたことである。これまで、金属錯体など均一系での実験は知られているが、可視光と X 線で侵入深度が異なることから固体への応用はその報告例が無かった。受賞者は WO<sub>3</sub> 微粒子を水中に分散させて試料濃度を下げ、レーザーによる励起を効率よく行うことでこの問題を克服し、XFEL の超短パルス X 線を用いることで、500 fs の時間分解能の XAFS 測定に成功した。これによって、WO<sub>3</sub> の光励起状態が多段階の過程を経て緩和していること、光励起に伴う W の価数変化に200 ps 遅れて構造変化が起こることを明らかにした。

以上のように、上村洋平氏は多様な時間分解 XAFS 法で触媒構造変化を追跡し、反応メカニズムを解明した。これらの成果は、放射光科学、および、触媒化学研究両面において独自性の高い優れた業績であり、放射光学会奨励賞に相応しいものである。今後のさらなる発展を期待する。

• 木村隆志（北海道大学 電子科学研究所）

「X線自由電子レーザーによる溶液環境コヒーレント回折イメージング法の開発」

木村隆志氏は、X 線自由電子レーザー (XFEL) を利用したコヒーレント回折イメージング (CDI) 法を溶液環境下で実現するための基盤技術を開発し、コヒーレント放射光科学の発展に顕著な貢献を行なった。

XFEL を利用した CDI 法は、結晶でない試料に対して、放射線損傷の問題を回避しながらナノイメージングを実現する方法として注目されてきた。しかしながら、CDI 法では、寄生散乱を抑制するために試料は通常真空中に置かれるため、試料環境が厳しく制約されていた。受賞者は、CDI 法を溶液中の試料に対して適

用するために、微小な液体セルをチップ上に多数配置した、マイクロ液体封入アレイ (MLEA) の開発を行なった。この上で、各セルからの回折像を、XFEL のシングルショット照射で次々と取得することにより、溶液中の生きた細胞を X 線でナノレベル観察することに世界ではじめて成功し、その有用性を実証した。さらに、生体試料の観察のみならず、液中における合成や反応等のナノ材料のダイナミクスの解明へと広く展開している。

これらの業績は、コヒーレント放射光科学の重要な一基点として、本学会奨励賞に相応しいものである。今後のさらなる発展を期待する。

### ■第4回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2016年10月8日開催の第112回評議員会にて、石川会長より、第4回功労報賞は応募がなく、該当者なしとする旨の報告があり、これを承認した。

### ■日本放射光学会第113回評議員会議事録

日 時：2017年1月7日 (土) 12:00~13:20

場 所：神戸芸術センター 会議室501

出席者：朝倉清高、足立純一、雨宮慶幸、石川哲也 (会長)、太田俊明、尾嶋正治、加藤政博、木村昭夫、木村滋、木村真一、組頭広志、小杉信博、後藤俊治、櫻井吉晴、辛埴、鈴木基寛、大門寛、高田昌樹、高原淳、原田慈久、平井康晴、藤原明比古 (庶務幹事)、松田巖、水木純一郎、村上洋一、矢代航 (行事幹事)、山本雅貴、渡邊信久、吾郷日出夫 (編集幹事)、雨宮健太 (渉外幹事)、渡部貴宏 (会計幹事)

欠席者：繁政英治、藤森淳

事務局：伊都千佳、笹部昌子、佐藤亜己奈

〈審議事項〉

- 第30回総会議事  
藤原庶務幹事より、第30回総会の議事案について説明があり、これを承認した。
- 2016年度決算・2017年度予算案  
渡部会計幹事より、2016年度決算および2017年度予算案について説明があり、これを承認した。尚、2016年度決算より、年会・合同シンポに関連する項目については収支の結果を収入に記載する形となった旨、説明があった。
- 選挙のオンライン化  
藤原庶務幹事より、2017年度実施の選挙から導入を予定しているオンライン投票の実施方法案について説明があり、これを承認した。
- 会員の休会制度  
藤原庶務幹事より、「会員の休会」の取り扱い案と、それに伴う細則改定案について説明があり、これを承認した。細則の改定については総会で報告をすることとした。

「会員の休会」の取り扱い案

1. 会員は学会(事務局)に届けることで休会する事ができる。
2. 会費徴収：無
3. 会誌配布：無
4. 年会等での登壇資格：無
5. 各種会員割引等：無
6. オンライン雑誌購読：無
7. MLでの情報提供：有
8. オンライン名簿：休会の備考つきで掲載
9. 復会時：会員番号継続

会員の休会制度整備に伴う細則改定(下線部を追加)

第1章 正会員、特別賛助会員、賛助会員、シニア会員および購読会員

第1条 本会に、正会員として入会を希望する者は、所定の入会申込書に必要事項を記入し、評議員会に提出すること。また、学生はその身分を証明する書類を添付すること。学生としての身分を失ったときは、直ちに本会に届け出ること。正会員は、本会に届け出て休会することができる。会員の休会時の取り扱いについては、評議員会で定める。

5. 会員異動

藤原庶務幹事より、第112回評議員会以降の入会申請者に関して、入会：正会員46名(内学生34名)、賛助会員1社1口、特別賛助会員1団体1口の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員9名(内学生0名)を確認した。2017年1月7日現在での総会員数は1,321名(内学生141名)、名誉会員6名、シニア会員49名、賛助会員46社(48口)、特別賛助会員12団体(19口)。また、会費3年間未納のための自動退会者29名および会費2年滞納者37名のリストを確認した。

6. 協賛・後援・共催

雨宮渉外幹事より、本学会に対する協賛依頼について報告があり、協賛12件を承認した。

7. 特別委員会の設置

高エネルギー加速器研究機構長、物構研所長、PF施設長より日本放射光学会会長に対して、KEK放射光CDRについて科学的・技術的な検討をお願いしたい旨、要請があった。石川会長より、本件は、我が国の放射光施設のあり方に関わる一つの案件として、特別委員会での検討が妥当であるとの提案があり、2017年1月7日から2017年3月31日まで特別委員会を設置することを承認した。

<報告事項>

1. JSR2017状況・JSR2018準備状況

矢代行事幹事より、第30回年会・合同シンポ(JSR2017)が順調に開催されているとの報告があった。また、第31回年会・合同シンポ(JSR2018)は、2018年1月8日(月・祝)～10日(水)につくば国際会議場で開催予定であるとの報告が

あった。

2. 会誌編集状況

吾郷編集幹事より学会誌の発行および編集状況について報告があった。

3. 男女共同参画学協会連絡会大規模アンケート調査

雨宮渉外幹事より、以前協力をお願いしていた科学技術系専門職の男女共同参画実態調査について、放射光学会から前回を越える回答があった旨、報告があった。

4. AOFSSRR2016

雨宮渉外幹事より、2016年11月2日～4日に上海で開催されたAOFSSRR2016について報告があった。

評議員会日程(予定)の確認

第114回評議員会 2017年4月8日(土)

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

第115回評議員会 2017年7月8日(土)

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

■第30回(2017年)日本放射光学会総会議事録

日 時：2017年1月7日(土) 15:30～16:30

場 所：神戸芸術センター A会場(芸術劇場)

出席者：出席者：161名 委任状：47名 計：208名

定款第28条により、正会員の1/10(133名)以上の参加で総会は成立。

(議事)

1. 議長選出

議長に木村昭夫会員を選出した。

2. 2017年度会長挨拶

石川会長より挨拶があり、放射光学会ミッションの再定義、高いレベルでサイエンスを進める環境作り、近未来放射光利用者支援体制の検討など、2017年度の活動方針について所信表明があった。

3. 新事務局紹介

藤原庶務幹事より、2016年3月から学会事務局業務を委託している榎ボラリス・セクレタリーズ・オフィスの紹介があった。

4. 2016年度事業報告

藤原庶務幹事より、2016年度の学会活動について報告があった。

5. 2017年度学会組織

藤原庶務幹事より、2017年度の学会組織(会長、幹事、評議員、各委員会)について報告があった。

6. 2017年度事業計画

藤原庶務幹事より、2017年度の事業計画について報告があった。

7. 2017年度行事活動方針

矢代行事幹事より、年会・合同シンポ、放射光基礎講習会、若手研究会の開催など、2017年度の行事活動方針について報告があった。

## 8. 2017年度編集活動方針

吾郷編集幹事より、試料環境シリーズの連載、単行本「放射光ビームライン光学技術入門」完売に伴う対応の検討など、2017年度の編集活動方針について報告があった。また、第112回評議員会で承認された投稿規程の改定について報告があった。

## 9. 2017年度渉外活動方針

雨宮渉外幹事より、他学会に対する情報発信、AOFSSRでのリーダーシップの確保、IUCrのIUCrのCommission on Synchrotron and XFEL Radiationとの協調、学会ホームページのアップデート、緊急時における他学会への働きかけ、男女共同参画との連携など、2017年度渉外活動方針について報告があった。

## 10. 第21回学会奨励賞

石川会長より、学術賞等選考委員会において、今後の放射光科学での広い分野への寄与の可能性に重点を置く方針の下選考を行った結果、下記の2名を第21回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

上村 洋平 会員 (自然科学研究機構 分子科学研究所)  
「超高速時間分解 XAFS による不均一触媒のメカニズムの研究」

木村 隆志 会員 (北海道大学 電子科学研究所)  
「X線自由電子レーザーによる溶液環境コヒーレント回折イメージング法の開発」

## 11. 第4回功労報賞

石川会長より、第4回功労報賞は応募がなく、該当者なしとする旨の報告があった。

## 12. 選挙のオンライン化

藤原庶務幹事より、2017年度実施の選挙からオンライン投票の導入を予定している旨、報告があった。

## 13. 会員の休会

藤原庶務幹事より、会員の休会制度を設けた旨、報告があり、「会員の休会」の取り扱い内容と、会員の休会制度整備に伴う細則改定について説明があった。

## 「会員の休会」の取り扱い

1. 会員は学会(事務局)に届けることで休会する事ができる。
2. 会費徴収：無
3. 会誌配布：無
4. 年会等での登壇資格：無
5. 各種会員割引等：無
6. オンライン雑誌購読：無
7. MLでの情報提供：有
8. オンライン名簿：休会の備考つきで掲載
9. 復会時：会員番号継続

## 会員の休会制度整備に伴う細則改定(下線部を追加)

第1章 正会員、特別賛助会員、賛助会員、シニア会員および購読会員

第1条 本会に、正会員として入会を希望する者は、所定の入会申込書に必要事項を記入し、評議員会に提出すること。また、学生はその身分を証明する書類を添付すること。学生としての身分を失ったときは、直ちに本会に届け出ること。正会員は、本会に届け出て休会することができる。会員の休会時の取り扱いについては、評議員会で定める。

## 14. 2016年度決算報告

渡部会計幹事より、2016年度決算報告があり、これを承認した。事務局移行後も健全な会計業務が行えることを概ね確認出来たこと、2016年度決算より、年会・合同シンポに関連する項目については収支の結果を収入に記載する形となったことなど説明があった。

## 15. 2017年度予算案

渡部会計幹事より、2017年度予算案が示され、これを承認した。

## ■会員異動

### 第113回評議員会(2017年1月7日)で承認

#### 《正会員入会》

吉川 浩史 関西学院大学理工学部  
小野 泰輔 株式会社デンソー  
坂田 智裕 電気通信大学  
今井 学 丸和電機株式会社  
原田 彩佳 高エネルギー加速器研究機構 構造生物学研究センター  
引田 理英 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学研究施設  
久我健太郎 理化学研究所 放射光科学総合研究センター 利用技術開拓研究部門 可視化物質科学研究グループ  
赤井 一郎 熊本大学 パルスパワー科学研究所 極限物性物理  
三浦 禎雄 東北大学電子光理学研究センター  
犬飼 潤治 山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター  
山本篤史郎 宇都宮大学大学院工学研究科機械知能工学専攻材料組織制御学研究室  
山本 貴士 株式会社ユニソク

以上12名

#### 《学生会員入会》

萩谷 透 京都大学理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻物理学第一教室 不規則系物理学研究室  
稲垣 貴大 名古屋大学 工学研究科 曾田研究室  
高根 大地 東北大学院理学研究科物理学専攻光電子固体研究室  
藤田 大志 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻高嶋・伊藤研究室  
馬場 知之 東京大学大学院 新領域創成科学研究科  
山田 大貴 東京大学工学系研究科化学システム工学専攻 大久保・脇原研究室  
松本紗葵子 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科櫻井研究室  
谷 直哉 北海道大学電子科学研究所  
Trang Chi 東北大学大学院理学研究科物理学専攻光電子個体物性研  
飯田 剛之 東京大学工学系研究科化学システム工学専攻大久保・脇原研究室  
濱中 颯太 兵庫県立大学大学院工学研究科応用科学専攻物質計測化学研究グループ  
ユ デヒョン 東北大学多元研究所上田研究室  
青木 駿堯 立命館大学理工学部物理科学科滝沢研究室  
伊原 諒 立命館大学 理工学研究科 滝沢研究室  
綿貫 秀峻 立命館大学理工学研究科滝沢研究室  
長崎 一也 名古屋大学 工学研究科 マテリアル理工学専攻材料工学分野 高嶋・伊藤研究室  
那須 勇樹 福井大学 工学研究科 電気・電子工学専攻 電子材料研究室  
田伏 菜美 同志社女子大学生活科学部食物栄養科学科管理栄

養士専攻食品化学研究室

末永 太河 広島大学理学研究科化学専攻構造物理化学研究室  
阿部 悠太 上智大学大学院理工学研究科原子分子分光研究室  
玉澤 晃希 東京理科大学 大学院 理工学研究科 物理学専攻 幸村研究室  
金澤 諭史 北九州市立大学大学院  
米倉 大貴 佐賀大学シンクロトン応用研究センター  
松本 孝之 大阪府立大学 工学研究科 博士前期課程 電子・数物系専攻 数理工学分野 固体物性研究グループ  
村田 満理 立命館大学, 理工学研究科, スピン物性分光研究室  
御手洗 誠 東北大学多元物質科学研究所 計測研究部門 構造材料物性研究分野  
畑 彰宏 立命館大学理工学部, 滝沢研究室  
杉浦 慎哉 名古屋大学大学院 工学研究科 マテリアル理工学専攻 量子エネルギー工学分野 曾田研究室  
白川 大輝 名古屋大学 工学研究科 マテリアル理工学専攻量子エネルギー工学分野 曾田研究室  
井上 高延 東京大学大学院 新領域創成科学研究科  
田口 将寛 名古屋大学 理学研究科 物質理学専攻(化学系) 無機化学研究室  
鈴木 陽也 名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻(化学系) 無機化学研究室  
川本 雅人 京都大学人間環境学研究科吉田鉄平研究室  
山本 功樹 名古屋大学大学院工学研究科

以上34名

#### 《賛助会員入会》

イノベーションサイエンス株式会社

以上1社1口

#### 《特別賛助会員入会》

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

以上1団体1口

#### 《退会会員》

正会員9名

#### 《会員数》

会員1321名(内学生 141名) 名誉会員6名 シニア会員49名  
賛助会員46社(48口) 特別賛助会員12団体(19口)

日本放射光学会2016年度決算書  
自 2015年10月1日 至 2016年9月30日

## 1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額	額
会費収入	正会員会費収入	8,279,000	11,907,000
	学生会員会費収入	183,000	
	賛助会員会費収入	2,200,000	
	購読会員会費収入	345,000	
	特別賛助会員会費収入	900,000	
会誌収入	会誌広告収入	3,003,434	3,557,844
	会誌販売収入	252,532	
	別刷収入	301,878	
	会誌カラー印刷費	0	
年会・合同シンポ	第29回日本放射光学会年会・合同シンポより	1,206,979	1,206,979
行事開催収入	基礎講習会	140,444	140,444
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	149,000	159,940
	販売収入 (検出器ガイド)	10,940	
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	1,244
	受取利息	1,244	
収入の部合計			16,973,451

## 2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 別刷印刷費 会誌発送費 発送手数料 原稿料	1,951,312 88,469 315,543 250,728 84,000	2,690,052
学会誌出版費(小宮山印刷工業)	会誌印刷費 別刷印刷費 会誌発送費	1,957,062 42,027 388,693	2,387,782
単行本出版費	発送手数料(ビームライン光学技術)(ワーズ) 仕入れ(検出器ガイド)	18,852 9,504	28,356
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		130,032
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	151,386 0	151,386
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費 AOFSSR 協賛金 国際光年協賛金	1,777,880 483,632 251,494 231,916 115,028 900,000 0	3,759,950
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当(選挙開票アルバイト) 運賃(宅急便+メール便) 支払手数料 web サーバー維持費	0 33,636 14,000 42,909 183,777 30,132	304,454
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web 会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費 広告業務費	181,396 78,300 68,472 504,900 0 318,192	1,151,260
ポラリス事務委託費	会員業務委託費 会計業務委託費 庶務業務委託費 ホームページ更新等 イベント関連業務 保管料(倉庫代) その他業務費 学会誌関連業務	787,862 151,200 888,300 280,800 151,200 75,600 616,226 1,336,500	4,287,688
会計業務費	税理士顧問料		150,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
	新事務局移行費		468,779
支出の部合計			15,514,739

## 3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			1,458,712
前期繰越金			15,078,852
次期繰越金			16,537,564

## 2016年度資産負債明細

2016年9月30日現在

## 1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額
1. 現金及び預金	手持現金残高	0
	郵便振替残高	20,916,069
	三菱東京 UFJ 銀行普通預金残高	5,916,160
	三井住友銀行普通預金残高	0
2. 未収金	会誌販売, 他未収残高	461,253
3. 立替金	第30回年会・合同シンポ(旅費など)	656,152
4. 前払金		0
流動資産の部合計		27,949,634

## 2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費	6,288,000
	学生会員会費	82,000
	賛助会員会費	2,050,000
	特別賛助会員会費	900,000
2. 未払金	事務局移行費・業務関連費用(7月~9月分)他	2,092,070
負債の部合計		11,412,070

## 3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額
1. 前期繰越金		15,078,852
2. 当期収支差額		1,458,712
剰余金の部合計		16,537,564



日本放射光学会2017年度予算書  
自 2016年10月1日 至 2017年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	8,279,000	12,057,000
	学生会員会費収入	183,000	
	賛助会員会費収入	2,350,000	
	購読会員会費収入	345,000	
	特別賛助会員会費収入	900,000	
会誌収入	会誌広告収入	3,000,000	3,550,000
	会誌販売収入	250,000	
	別刷収入	300,000	
年会・合同シンポ			0
行事開催収入	基礎講習会	140,000	140,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	14,000	14,000
	販売収入 (検出器ガイド)	0	
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	1,000
	受取利息	1,000	
収入の部合計			15,762,000

## 2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費	0	100,000
	別刷印刷費	0	
	会誌発送費	0	
	発送手数料	0	
	原稿料	100,000	
学会誌出版費(小宮山印刷工業)	会誌印刷費	3,270,000	4,054,000
	別刷印刷費	134,000	
	会誌発送費	650,000	
単行本出版費	発送手数料	8,000	8,000
	仕入れ(検出器ガイド)	0	
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		130,000
行事開催費	基礎講習会開催費	140,000	640,000
	若手研究会開催費	500,000	
事業費	会議費	1,700,000	3,540,000
	通信費	500,000	
	印刷費	240,000	
	事務局交通費	200,000	
	公開市民講座開催費	0	
	AOFSRR 協賛金	900,000	
管理費	事務用品費	10,000	394,000
	消耗品費	30,000	
	給料手当(選挙開票アルバイト)	14,000	
	運賃(宅急便+メール便)	50,000	
	支払手数料	180,000	
	web サーバー維持費	110,000	
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費	0	0
	Web 会員名簿維持費	0	
	会員業務費	0	
	庶務業務費	0	
	行事開催業務費	0	
	広告業務費	0	
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	1,357,000	6,589,000
	会計業務委託費	0	
	庶務業務委託費	1,300,000	
	ホームページ更新等	482,000	
	イベント関連業務	300,000	
	保管料(倉庫代)	130,000	
	その他業務費	600,000	
	学会誌関連業務	2,420,000	
会計業務費	税理士顧問料		302,400
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
新事務局移行費			1,031,221
支出の部合計			16,793,621

## 3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			-1,031,621
前期繰越金			16,537,564
次期繰越金			15,505,943

## ■日本放射光学会2017年度組織

### ■会長（任期：2015.10.01-2017.09.30）

石川 哲也（理研）

### ■幹事（任期：2015.10.01-2017.09.30）

庶務幹事 藤原明比古（関学）  
行事幹事 矢代 航（東北大）  
編集幹事 吾郷日出夫（理研）  
渉外幹事 雨宮 健太（KEK）  
会計幹事 渡部 貴宏（JASRI）

### ■評議員

（任期：2015.10.01-2017.09.30）

雨宮 慶幸（東大）  
石川 哲也（理研）  
太田 俊明（立命館大）  
尾嶋 正治（東大）  
木村 昭夫（広大）  
木村 真一（阪大）  
小杉 信博（分子研）  
繁政 英治（分子研）  
辛 埴（東大）  
鈴木 基寛（JASRI）  
高原 淳（九大）  
平井 康晴（SAGA-LS）  
水木純一郎（関学）  
村上 洋一（KEK）  
山本 雅貴（理研）  
（任期：2016.10.01-2018.09.30）  
朝倉 清高（北大）  
足立 純一（KEK）  
加藤 政博（分子研）  
木村 滋（JASRI）  
組頭 広志（KEK）  
後藤 俊治（JASRI）  
櫻井 吉晴（JASRI）  
大門 寛（奈良先端大）  
高田 昌樹（東北大）  
原田 慈久（東大）  
藤森 淳（東大）  
藤原明比古（関学）  
松田 巖（東大）  
矢代 航（東北大）  
渡邊 信久（名大）

### ■行事委員

（任期：2016.10.01-2017.09.30）

矢代 航（東北大）委員長  
秋葉 勇（北九市大）  
五十嵐教之（KEK）  
池本 夕佳（JASRI）

竹内 晃久（JASRI）  
登野 健介（JASRI）  
永村 直佳（NIMS）  
初井 宇記（理研）  
舟越 賢一（CROSS）  
三村 秀和（東大）  
和達 大樹（東大）

### ■渉外委員

（任期：2015.10.01-2017.09.30）

雨宮 健太（KEK）委員長  
石坂 香子（東大）  
片山 哲夫（JASRI）  
仁谷 浩明（KEK）  
宮脇 淳（東大）

### ■編集委員

（任期：2009.10.01-2017.09.30）

舟越 賢一（CROSS）  
（任期：2010.10.01-2017.09.30）  
水牧仁一郎（JASRI）  
（任期：2013.10.01-2017.09.30）  
富樫 格（JASRI）  
（任期：2014.10.01-2017.09.30）  
中西 康次（立命館大）  
（任期：2015.10.01-2017.09.30）  
吾郷日出夫（理研）委員長  
青柳 忍（名古屋市立大）  
池田 直（岡山大）  
犬伏 雄一（JASRI）  
岡 俊彦（静岡大）  
奥山 大輔（東北大）  
笠口 友隆（慶応大）  
清水 伸隆（KEK）  
高橋 和敏（佐賀大）  
出口 博史（関西電力）  
保倉 明子（東京電機大）  
（任期：2016.10.01-2018.09.30）  
阿達 正浩（KEK）  
石松 直樹（広大）  
出田真一郎（分子研）  
大浦 正樹（理研）  
大橋 治彦（JASRI）  
籠島 靖（兵庫県大）  
田中 秀明（阪大）  
Harries James（量子機構）  
平野 馨一（KEK）  
松山 智至（阪大）

## ■2017年度の主な事業計画

- 第10回 AOFSSR  
2016年11月2日～11月4日（於：中国）
- 第30回年会・放射光科学合同シンポジウム  
2017年1月7日～9日（於：神戸芸術センター）
- 第30回総会  
2017年1月7日（於：神戸芸術センター）
- 第21回学会奨励賞授与  
2017年1月7日（於：神戸芸術センター）
- 放射光学会市民公開講座  
2017年1月8日（於：神戸芸術センター）
- AOFSSRスクール (Cheiron Grad School)  
2017年2月頃（於：SPring-8）
- 若手研究会
- 放射光基礎講習会  
2017年夏季開催予定
- 評議員会（10月，1月，4月，7月）
- 幹事会（12月，3月，6月）
- 編集委員会（年3回）
- 行事委員会（年1回，年会時）
- 学会各賞授賞選考（奨励賞，功労報賞，放射光科学賞）
- 次期会長・評議員選挙
- 学会誌の定期発行（年6回）  
Vol. 29, No. 6/2016年11月末発行  
Vol. 30, No. 1/2017年1月末発行  
Vol. 30, No. 2/2017年3月末発行  
Vol. 30, No. 3/2017年5月末発行  
Vol. 30, No. 4/2017年7月末発行  
Vol. 30, No. 5/2017年9月末発行
- 第31回年会・放射光科学合同シンポジウム  
（2018年1月/つくば国際会議場）準備

## ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 吾郷日出夫  
渉外幹事 雨宮健太

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr302

Password: ksr3skaU

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、[学会誌「放射光」のオンライン閲覧](#)をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、雨宮 (kenta.amemiya@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、吾郷 (ago@spring8.or.jp) までお願いします。

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2017年 6/22-23	2017年 第42回光学シンポジウム「実用的な最先端の光学設計/光計測/光学素子/光学システム, 光学における機械学習の活用」	東京大学 生産技術研究所 An 棟 コンベンションホール	一般社団法人日本光学会 E-mail: optsymp42-aud@myosj.or.jp	30・1
5/23-26	第53回真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合研究所	(一社)日本真空学会関西支部, 日本真空工業会関西支部, (一社)大阪府技術協会 E-mail: g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp	30・2
7/9-12	第17回 SPring-8 夏の学校—最先端の放射光科学を学ぶ—	大型放射光施設 SPring-8	兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光分野融合国際卓越拠点, 岡山大学大学院自然科学研究科, 大阪大学光科学連携センター・蛋白質研究所・核物理研究センター, (公財)高輝度光科学研究センター, 理化学研究所放射光科学総合研究センター, 日本原子力研究開発機構物質科学研究センター, 量子科学技術研究開発機構放射光科学研究センター E-mail: 2017summerschool@spring8.or.jp	30・2
7/21	第45回薄膜・表面物理セミナー (2017) エネルギーハーベスティングのための薄膜・表面技術	産総研 臨海副都心センター 別館11階会議室 11205室	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: oda@jsap.or.jp	30・2
8/17-19	2017年真空・表面科学合同講演会	横浜市立大学金沢八景キャンパス	公益社団法人日本表面科学会, 一般社団法人日本真空学会 E-mail: taikai17@sss.jp	30・2
10/22-26	The 8th International Symposium on Surface Science (ISSS-8)	つくば国際会議場 (エポカルつくば)	公益社団法人日本表面科学会 E-mail: iss8@sss.jp	30・2

### ■第53回真空技術基礎講習会

実習を主にした初級者のための真空技術基礎講習会。真空の基礎, 真空ポンプ, 計測, リークテスト等。

主催: (一社)日本真空学会関西支部, 日本真空工業会関西支部,  
(一社)大阪府技術協会

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2017年5月23日(火)~5月26日(金)

場所: 大阪府立産業技術総合研究所  
(大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1)

参加費:

主催団体会員55,000円

協賛団体会員58,000円

一般 65,000円

定員: 60名

締切日: 2017年5月15日(月)

申込・連絡先:

大阪府立産業技術総合研究所内

大阪府技術協会 担当: 三浦

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1

TEL: 0725-53-2329 FAX: 0725-53-2332

E-mail: g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp

<http://www.vacuum-jp.org/>

### ■第17回 SPring-8 夏の学校

—最先端の放射光科学を学ぶ—

SPring-8 夏の学校は, 次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的として, 大学院修士(博士前期)課程に在学中の学生および学部4年生を主な対象\*に, 毎年夏に4日間の日程で開催され今年で17回目となります。

SPring-8 で活躍する最前線の研究者による講義と実習を組み

合わせて行うことにより、放射光の原理と利用研究の基礎を学ぶと共に、放射光を使う実習によって最先端の実験を体験出来るようにカリキュラムが準備されています。また、究極のX線源であるX線自由電子レーザー施設(SACLA)についても学ぶことができます。

**主催:** 兵庫県立大学大学院 物質理学研究科・生命理学研究科、関西学院大学大学院 理工学研究科、東京大学 放射光分野融合国際卓越拠点、岡山大学大学院 自然科学研究科、大阪大学 光科学連携センター・蛋白質研究所・核物理研究センター、(公財)高輝度光科学研究センター、理化学研究所 放射光科学総合研究センター、日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター、量子科学技術研究開発機構 放射光科学研究センター

**後援:** SPring-8ユーザー協団体 (SPRUC)

**日時:** 2017年7月9日(日)~7月12日(水)

**場所:** 大型放射光施設 SPring-8 (兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1)

**参加費:** 無料 (但し宿泊費・交通費等は自己負担)

**募集定員:** 80名程度

**対象\*:** ■大学院修士(博士前期)課程の学生。

(\*人数に余裕があれば学部4年生も受け入れます)

■所属大学で放射線業務従事者として教育を受け、登録されていること。

■主催大学の推薦枠あり。

**申込期間:** 4月17日(月)10:00~5月12日(金)17:00まで(予定)

**申込方法:** WEBでのOn-line登録による参加申し込みとなります。(予定)

(応募者多数の場合は参加登録の内容をもとに選考させていただきます。)

詳しくはSPring-8ウェブサイト(3月下旬にオープン予定)をご覧ください。

**問合せ先:** SPring-8夏の学校事務局

(公財)高輝度光科学研究センター 利用推進部 普及啓発課

TEL: 0791-58-2785 FAX: 0791-58-2786

E-mail: 2017summerschool@spring8.or.jp

## ■第45回 薄膜・表面物理セミナー (2017)

エネルギーハーベスティングのための薄膜・表面技術

**主催:** 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会

**協賛:** 日本放射光学会, 他

**日時:** 2017年7月21日(金)10:00~17:30

**場所:** 産総研 臨海副都心センター 別館11階会議室 11205室 (〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26, 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車 徒歩3分)

**定員:** 100名(定員になり次第締め切ります。)

**参加申込期間:** 2017年4月6日(木)~6月29日(木)

**参加申込方法:** 薄膜・表面物理分科会ホームページ

<http://annex.jsap.or.jp/tfspd/>

第45回薄膜・表面物理セミナー登録フォームか

ら参加登録をお願いします。

**セミナー内容問合せ先:**

産総研 三宅晃司

E-mail: koji-miyake@aist.go.jp

東京大学 田畑 仁

E-mail: tabata@bioeng.t.u-tokyo.ac.jp

**参加登録問合せ先:**

応用物理学会 事務局 分科会担当 小田康代

TEL: 03-5802-0863 FAX: 03-5802-6250

E-mail: oda@jsap.or.jp

## ■2017年真空・表面科学合同講演会

真空・表面科学合同講演会では、表面科学とそれに密接に関係した諸分野について重要な問題を取り上げて討議して参りました。今回も日本表面科学会と日本真空学会の合同講演会として開催致します。基調講演、両学会分野別セッション、日本表面科学会部会セッション、日本真空学会のオーガナイズドセッションに加えて、両学会合同セッション、合同シンポジウムが予定されています。多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

**主催:** 公益社団法人日本表面科学会, 一般社団法人日本真空学会

**協賛:** 日本放射光学会, 他

**日時:** 2017年8月17日(木)~8月19日(土)

**場所:** 横浜市立大学金沢八景キャンパス(神奈川県横浜市)

([http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei\\_campusmap.html](http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei_campusmap.html))

**講演申込期間:** 2017年3月21日(火)~4月21日(金)17:00(WEB受け付け)

**要旨集原稿受付期間:** 2017年5月22日(月)~6月9日(金)17:00(WEB受け付け)

**問合せ先:** 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13 本郷コーポレーション402

公益社団法人日本表面科学会 事務局

TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897

E-mail: taikai17@sss.org

\*詳細は表面科学会

HP: <http://www.sssj.org/> をご参照ください

## ■The 8th International Symposium on Surface Science (ISSS-8)

**主催:** 公益社団法人日本表面科学会

**協賛:** 日本放射光学会, 他

**日時:** 2017年10月22日(日)~10月26日(木)

**場所:** つくば国際会議場(エポカルつくば)

**問合せ先・詳細:**

E-mail: iss8@sss.org

web: <http://www.sssj.org/iss8/>